

カサ比重測定器 取扱説明書

JIS R-6130 (ISO 9136)

使用法

(試料の調整)

試料は、一検査単位の中から JIS R-6003 の規定によって採取し F 100 及び P 100 より細かい粒度については、110 °C で 1 時間乾燥し室温まで冷却する。

F 90 及び P 80 より粗い粒度についても乾燥することが望ましい。

(測定準備)

水準器及び水平調整足(2本)にて、測定器を水平に設置する。

受皿を台板の孔に差し込み、その中心に受器を置く。

測定に用いる試料約250mlをビーカーにとる。

ロート出口のダンパーを閉じ、受器の中心がロート出口の真下にあることを確認した後、ロートに試料を入れる。

(測定操作)

ロートの出口のダンパーを抜き、試料全量を受器に落とす。

受器の上面から盛り上がった試料は金属板(1)を受器上縁に対して約45°の角度で密着させながら軽くすくい取るように除く。

次に受器に入った試料の質量を0.01gまで正確にはかる。

注(1)：金属板は、長さ100～150mm、厚さ約3mm、幅約30mm以上の規定状のものが望ましい。

備考：操作中は振動を与えないように注意する。

(計算方法)


カサ比重の計算は、次の式によって行い、小数点以下2けたに丸める。

$$P a p = \frac{m l}{V}$$

P a p: カサ密度 g / cm³
m l : 試料の質量 g
V : 受器の容積 cm³

(測定の再現性)

同一の測定者、同一の測定を繰り返した場合の誤差は、±0.02g/cm³以下でなければならない。

 筒井理化学器械株式会社

〒110-0003 東京都台東区根岸1丁目1番31号

☎ 03(3845)2011(代) FAX 03(3842)5852